


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	書いてみよう、読んでみよう、日本語で遊ぼう		
	単元(題材)の目標	・読み書きできる平仮名を増やす		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名は、清音で30文字程度は読めるが、すぐに「わかりません」と言う。 ・1文字ずつ指差しなどで注目させ、時間をかけることで読めることもある。 ・読めない平仮名もカルタでは素早く取れる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	ぐーびーともじあそび hiragana		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名の読みは苦手だが、カルタは得意であることから、音や形で認識しているのではと思い、タブレット端末を活用してみようと思った。 ・苦手意識をなくしていくために、ゲーム感覚で気軽に楽しんで取り組む。 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活動場面 <ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習や個別課題で取り組んでいる。 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・プリント学習と併用して、取り組んでいる。 ・ついたてを利用して取り組んでいる。 ○生徒の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・アプリの声や音を聞いて、文字を探している。 ・直接の読み書きには、なかなかつながらない。 ・口頭で話ながらの学習よりも、タブレット端末での学習の方が集中して取り組むことができ、一人でできた達成感も感じている。 ・他の生徒のタブレット端末の音声気になってしまうことがある。 			